

教科	家庭	科目	服飾文化	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	アカデミー
使用教科書	服飾文化(教育図書)			使用副教材等	なし				

目標	・服飾の変遷と文化、着装などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・服飾文化に関する課題を発見し、服飾文化の伝承と想像を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・豊かな衣生活の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・服飾の変遷と文化、着装について理解する ・被服製作に必要な知識や技術を理解する	・被服製作に対し、思考・判断し、表現することができる	・計画を立て、実施し取り組みを振り返る ・被服製作に真摯に取り組む姿勢を身に付ける
評価方法	①服飾の変遷と文化、着装について理解している ②被服製作に必要な知識や技術を理解している	③被服製作に対し、自分と関連付けて思考・判断し、表現できる	④計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる ⑤被服製作に真摯に取り組む、自主的な作業や準備ができる

担当者からのメッセージ	この科目は、日本や世界の服飾の変遷と文化の多様性、着装などに関する知識や技術を活用し、服飾文化の伝承と創造に寄与することができる資質・能力を育むことをねらいとしています。 服飾を通して、世界の文化の多様性について理解を深め、衣服製作を通して知識と技術を身に付け、自らの衣服について関心を高め、豊かな衣生活の実現を目指していきけるよう自ら学び創造していきける力を身に付けていきます。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	第5章 服飾文化の伝承と創造 第1節 我が国の通過儀礼と服飾 ・生まれてから成人までの通過儀礼時の服飾について理解する ・成人以降の通過儀礼について理解する 第2節 我が国の年中行事と服飾 ・豊かな衣生活とはどのようなものなのかを考える	評価方法①【記述式テスト】 評価方法④【被服製作に向けた計画を立てる】
	5	第3節 伝統文化と服飾 -季節感とのかかわり- ・服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む	評価方法①②【名称記述テスト、作品提出】 評価方法③【被服材料の選択、試着】 評価方法④【被服製作過程の記録・感想及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】
	6	第6節 服飾文化の創造に向けて ・ブラウス製作 ① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるし付け ④ 衿の製作 ⑤ 縫い代にロックミシンをかける	夏休み課題 評価方法①【作品提出】 評価方法③【被服材料の選択】
	7	⑥ 肩を縫う ⑦ 衿付け ⑧ 袖付け ⑨ 脇縫い	
	(8)	⑩ 脇縫い ⑪ 裾縫い ⑫ 袖つけ	
	9	⑬ ボタン付け ⑭ 仕上げ ・サーキュラスカート製作	
	10	① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるし付け	
	11	④ 脇を縫う(ロックが必要な場合はかける) ⑤ 裾・ウエストを縫う ⑥ ゴムを通す	
	12	⑦ 仕上げ ・自由製作	
	3	3年間の被服に関する授業で得た知識と技術を用いて製作する	
	1		